

質問者：保護者・先生 回答者：町長・担当者

Q 小中一貫の検討委員会で大原学園に視察もしましたが、今日話を聞きまして漠然とハード的な話をするのではなくソフト的なものが重要だと感じている。高野町として子供が未永く小中学校に通ってもらえる魅力のあるものを目指しているのか。掲げているのであれば教えてほしい。

A 小中一貫に向けて教育委員会で議論をしてもらっていた。検討会議、視察もしてもらった。小中一貫を目指しますというプリントを平成28年11月に子供を通じて各家庭に配布させて頂いた。そこから小中連携が始まりました。学校の先生方や教育委員会から小中一貫は難しいとの話があった。中学校の先生のほうが、抵抗感があるのではないかと。小学校の先生はそんなに違和感があるわけではないと思っている。橋本、伊都管内に小中一貫校に務めたいという先生がたくさんいると進めやすいがそれぞれ見えないものがある。無理やり進めるのは難しいので連携をしてもらっている。

Q 高野山小学校を卒業して中学校にくることが当然だとすれば、よその中学校にいつてしまうのは、家庭の事情等があると思うが意識調査などをすれば、なぜそこにいつたのかという理由がわかるのではないかと。そうならないようにするというテーマが見つかるのではないかと。

A アンケートの中に入れていきます。

Q 親にも子供達にも魅力のある学校にしてほしい。

A 保護者の方が自分たちも勉強したいなと思える、外部からも集まってもらえるような内容をしっかり考えていかなければならない。

Q 下の学校にいつてしまうのは、親の意識が重要だと考える。そうしないと資料のようにどんどん人口が減ってします。

A どんどん人口が減るので学校が必要なのかという方がいらっしゃるかもしれないが、人口の減りをどれだけ抑えていくかを考える必要がある。統計上、人口は減っていきます。何年後かには1200人くらいになります。そして、これからは全国で人口が減少していきます。全国で人の取り合いが起っています。女性の人口も減ってくるので出生率がかなり上昇すればかわっていくと思うが当面は減っていく。それをどう食い止めていくか、なだらかにするかは、移住者等にいつかに来てもらうかが課題

Q 人口が少なくなっていくのを食い止める。または、なだらかにする策はありますか。

A 仕事があつて学校があれば人は住んでくれる。うちの町がやつてこなかつたこともあるが平成7年から平成27年で6000人から3000人になつた。なぜかといつと役場の職員も金剛峯寺の職員も事業者もみんな下から通つている。住居の自由があるが、町から人が出ていくことを考えていかなければならない。そこで義務教育の無償化をさせて頂いた。財源は、ふるさと納税をつかつた。こども園も無償化にしたし、この町は、子供から中学校まではお金はいらぬ。医療費も中学校まで無償化している。医療費無償化、給食費の無償化は他の自治体でも取り組まれているところがあるが、予算の配分を子育て支援に回している。子育て支援をすることが全世帯を支えることになる。

Q 仕事、働く場所についてはどうお考えですか。

A 高野山の交流人口は年々増えている。インバウンドに支えられている部分があるがものすごく恵まれている場所である。それに関連する3次産業の仕事がたくさんある。それを支えるためには1次産業を活性化させる必要がある。花坂、富貴に人が来てもらえるように耕作放棄地の解消に力をいれている。富貴でホップをつくり、筒香の米を給食に使っている。来年度ぐらいにフルーツを作ってもらおうかと考えている。ハウスなどを行政が用意してこの事業に本気でやりたい人を募りたい。こつゆう仕事をつくりたい。高野楨の放置林も管理していつて商品にしたい。あとは参拝者が増えることを期待したい。

Q 小中一貫校を作るにあつて高野山内に人がいないともつたいないと思ひます。

A 中学校までは高野町でいたいといつ学校を作るといつ施策をとりたいといつことです。

Q 子どもがいなくなつていつても大人も使える施設になれば長期的に使えるのではないかと。こつでプールの話ですが、教育委員会の案で8月を住民開放となつていますが、ずつと開放とかできないですか。

A これは教育委員会の案ですが、委員さんから出てきた意見です。あくまで要望です。住民みんなでも使えることも考える必要がある。でも保護者の方の心配の意見を聴くこつが必要と思ひている。

Q 年中使えるといいですよ。

A それはそうですね。

Q スイミングを下に習いにいかないとあかんこともなくなるのか。

A はい。各年代にあった床が動くことが望ましいと思っている。

Q そんなことができると素晴らしいですが。

A 床が動くことによってふたになって保温効果がでるそうです。自動であがるやつがある。

Q 室内じゃないとだめですよ。

A プールは室内を考えています。中学校のプールは防火水槽で置いておきたい。

Q 高野町は出ていく人を少なくしても、増えることがない。川筋の人に高野町はこんなことをしています。皆さん知っていますかって広報しているのか。

A 義務教育の連携は29年度途中からやっている。今年の4月からいろんなところで話をすると反響がある。今年の4月からFM 橋本でこんな情報を発信していこうかと思っている。FM 橋本だけでなく南泉州も視野にいれている。鍋谷トンネルができたので和泉市や泉佐野市ぐらいなら十分通える。花坂からでも通える。チラシよりもネットとかで集中的にやろうかと思っている。

Q 結局無償化の時だけ来てもそれでおわったら意味がない。

A それはわかります。仕事がちゃんとしないとそこは無理になる。ただ、そこは出入りが激しくなるがそれは仕方ないと思っている。

Q 役場の人や金剛峯寺の人はその期間だけでも戻ってこないのか。

A 面接で言っただけですが、高野山に住んでほしいことを伝えている。高野山に戻ってきてくれている職員もいる。管理職は、高野山に住所があることが必須と考える。

Q それを学校の先生に求めることはできないか。せっかくこんな話をしてもよそに行ってしまって知らなくなってなるのももったいない。

A 富貴地区とかはもともと先生が多い。地域に根付いていた。高野町の子供達が先生を目指してくれば戻ってきてくれるのではないかと。可能性がでてくる。先生の異動は橋本、伊都管内に異動になる。この前にも地元の先生がいてくれていた。高野町出身の先生を輩出することが一番根づく。

Q 今出している案についてですが、体育館が校舎から遠い。冬場どうやって移動するのか。こういう意見というのは今後聞いてもらえるのか。

A 当然。今後はアンケートが中心になってくると思うが。直接職員に言ってもらってもいい。役所的には一つの校舎に小中学校をいれたい。できるだけ集約すれば適正債はもっと使える。教育委員から校舎を分けてあげてほしいという意見があった。

Q 他の地区ほど高野山地区は中一ギャップがないように保護者からの目線では感じる。それが一緒になると成長の意識がうすまるからだめってことですかね。小学校から中学校になるときに通学路が変わるから気持ちが変わるという声を言いたことがある。それがなくなるとタラタラなるのかな。

A 国からは、できるだけ公共施設は、集約化してくださいという求めがある。

Q ほかにも集約化しているところがあるのか。

A 集約化しているところがあります。建設ラッシュ時に公共施設を建てているので整備、集約化する必要がある。役場庁舎もどこか利用するとか、どこかの事務所と一緒にになるとか効率化が必要と思っている。小学校棟・中学校棟を作って渡り廊下でつなぐと適正化債は使えない。でも真ん中に共用棟をつくって一体型にすると適正化債は使える。こういう施設が必要だ、こんな施設がいるという先生の意見が教育委員会を通してでも必要。

現在、お配りした案ではテニスコートがなくなるので体育館をリフォームして全天候型の運動場にしてはどうかという考えもある。テニスコート二面とかフットサルとかできるのではないかと。総合グラントも夏場ぐらいしか使っていない。中学校のメイングラントは総合グラントを使ってもよいと思う。

Q プールのうえに体育館を作ってはどうか。

A 土地を節約できるのでそれも考えたが湿気の問題がある。湿気で施設がわるくなる。高野口のアザレアホールが湿気でカビまみれ。二階がプールであるが、分離がのぞましい。木をメインで使いたい。

Q 完全な木造を目指すの？

A 完全な木造は難しい。鉄骨に木を使うなど、組み合わせが考えられる。

A この際、借金しないでいけそうなので自分たちが通いたい学校にしたい。先生も自分たちが授業したい施設にしたいと思う。

Q 今までの経験上、先生の立場としてこういう施設がよかったとかありますか？高野山出身の保護者が多いので地元しか知らない。よその学校のよいところが知りたいし、案にいれてほしい。

A 部屋のことについては先生の意見が中心になるかと思う。

Q ハード的なことはどうにかなるかと思う。ソフト的な問題が必要。

A 中一ギャップを考えるうえで、花坂小学校のことを考えなくてはならない。花坂地区としては学校を残してほしいという願いがある。現在、小中連携は花坂地小学校ができてない。町で教育格差があるのはどうかと思っている。花坂小学校も一緒になれば小中一貫はさらに進みやすい。

Q 小学校がない地区には住みたくないという人はいる。できるだけ近くにあるほうがいい。

A 移住者を考えると花坂に可能性がある。

Q 花坂は小学校が存続したい気持ちもわかる。花坂地区の子供達が高野山にきっちり通える方法を考える必要があるのではないか。

A 高野山小学校と花坂小学校は物理的に一緒にすることは可能と思っている。今後の課題。富貴小学校までは無理かなと思う。

Q 先生たちの時間外とかが問題になっているが、一貫校になって負担が増えることがあると先生たちが大変になるだけで来てくれなくなるのではないか。連携を先に強化しないと建物の形ばかりとらわれていてはダメ。補助とか使うべきだと思うが現場の意見をもっとくむ方がいい。

A 義務教育学校にしたいと言ったこともある。補助率が高いので。行政側としては考えてしまう。義務教育学校にいきなりするには無理があるので小中一貫校を目指すということで平成28年にプリントを配布しています。これに基づいて進んでいます。この方向性の先生を町としても確保していかなければならない。学校の建設も必要だが、ある程度の年限を決めて小中一貫にしますということを教育長中心に決めてほしい。

Q 高野町だけでやってもむずかしいのではないか？橋本管内で考えてもらうことはできないか。

A 市町村をまたぐ、地域性が違うので話をするのはむずかしい。町としては小中一貫については、教育委員会の意見を尊重する気持ちでいます。中学校の校長先生が小中一貫をしたいと思っている先生を引っ張ってくることができると聞いたことある。

Q 小中一貫をするということであれば公募することができる。そういう目的をもった先生が小中一貫することが理想です。学校というのは、いろんな要素がある。子供が通いたい学校、親として通わせたい学校、教師として働き甲斐のある学校、地域の中心の学校、全国から注目させる学校になってほしい。学校を優先して施設整備してくれることをうれしく思っている。

A 教育委員会と学校の先生と協議をしていただいて小中一貫を進めていただけたらなと思います。

Q 今日の説明会がなんの説明会なのか？話が広がりすぎてまとまってない。要点をしぼって話をしてほしいなと思います。障害をもった子供に対する施設のあり方について考えてほしい。

A 説明会の狙いは、町として教育施設を整備していきますということを伝えなかった。これから皆さん意見を出してほしいと思っています。これからはアンケートが中心になるかと思いますが。

Q 説明会等で意見を言うのは、言いにくいと思いますのでその辺は配慮が必要だと思います。また、どんな施設が必要だという案がないと話をしにくい。出してほしい。あと南泉州へ通勤するのはきついと思います。

Q もっと具体的に決まってくれば話しやすいのかと思います。例えば小さい子供と中学生と一緒に遊べるのかとか気になるところがあります。

Q この段階で保護者を募っても保護者が集まらない。もっと具体的に決まった後に保護者を呼んでもいいのではないか。保護者が来ないのだから決めていってもよいのではないか。

A 12月のこども園のお遊戯会で少しでも早くこの計画のことをお伝えたくて話をさせていただきましたが、その反応が一部で勝手に決められているというものでした。これは丁寧に保護者の方に説明する必要があるかと思っています。どんなことでもいいねって言ってくれる人も、批判もあると思います。

Q だいたいこんな感じという案があった方が意見を言いやすい。

A 次の段階ですね。

Q もっとみんなに知ってもらうことが大事。小中一貫の検討委員会をやっても保護者の人はこんな反応です。町で広報してもらったりしたけど変わらなかった。保護者の考えを変えることも大事です。それでもだめなら自分たちで決めていくことが大事。

Q 高野山中学校はこの場所に建てることは決定ですか。

A ここで計画したいなってことです。議会の理解も必要です。

Q この場所で中学校を建設するなら一時、小学校等への引っ越して話もありましたが、それは実際、難しいと思います。引っ越しのないようにしてほしいです。今目の前にいる子供達が大事です。その子達にしわ寄せはいかないようにしてください。校舎と校舎を離すと起債の対象外になりますよね。間に共有部分をいれると起債の対象になるという理解でいいですか。

A 1階小学校、2階中学校みたいにした方が効率的なのですが。

Q 分けてほしいです。

A そのあたりは、住民の意見、議会の意見、先生の意見を聴きながらになると思います。

高野山小学校説明会質疑応答（平成31年3月6日開催）

質問者：保護者・先生 回答者：町長・教育長・教育次長・担当者

Q 中学校を見に行かせていただいて間違いなく早く対応しなければならないと感じた。ペランダにも出られない状態ですし、建替えるのであれば先を見据えた学校が必要。細かいことでプールが25mあるとかではなくもっと先をみて高野山からこういう子供を育てていきたい。だからこういう施設が必要なのだ。先の目標・ビジョンを立ててからそれを全員が共有してからやるやり方のほうがいいと思っている。プール開放などは後で話をすればいい。高野山から何か特化した子供を輩出するとか夢があればそれに施設はついてくる。それがなくいろんなものをくっつけていっても施設が点在だけになるのではないか。そのエリアを活かしてどんな人材を輩出するのかを先に決めて、施設を建設したほうがいいのかできると思っている。

A 元々ここ（小学校周辺）を文教エリアにしたいという考えもありました。しかし、環境的な事を考慮しました。小学校はまだまだ使えるのではないかという意見もありますが、職員室棟は耐用年数が近づいてきているのでどうにかしないといけない。だからどうするか。将来的に中学校に文教エリアをもっていきたいなと思っています。小学校の体育館は残しますが。当然、何かに特化した子供を輩出するまちという考え方もあります。クラブ活動が熱心な学校もあります。高野町の方々、また高野山にこられる方が訪れてみようじゃないかと思うよう、小さな子供からお年を召したからまで広くその地域に集まって勉強できる。交流できる空間づくりをしていきたいなとも考えている。

Q エリアということですか。文教エリアとは、鶯谷の地域を。

A ベビーカー押している方の横にお年寄りがいるみたい。遊び場と勉強する場所が一緒になっている。そこに小学校・中学校・こども園がある。平成17年に幼稚園の子供の減少により幼稚園と保育所と一緒にできないかという話が金剛峯寺様からありました。この町にお大師様のことを教える幼稚園がなくなるということがあってはならないということを経験したと聞いています。それで今の形になっています。小学校、中学校でもお大師さんのことを勉強する。宗教教育ではないですが、もっと町の歴史を学ぶ、またしっかり学べるような場所にもしたい。

Q いいと思いますよ。現代型の学童型という感じですか。何年後かになると思いますがゆくゆくはそういうエリアになればなと思います。いろいろ交通の問題とかあると思いますが、安全な道路、安全に対することを合わせてやっていくといいのかなと思います。お年寄りのとなりに孫ぐらいの子供が学んでいる風景があるエリアがあると思うだけちょっといいなと思います。

A 鶯谷地区を遠いと思わないでほしい。鶯谷地区に校舎できたら遠くなるじゃないかとか、なんであんなはずれに持って行くのかとかそういうことを言う人がいる。交通の便であれば簡単に解決できる方法があるはずだ。しっかりと鶯谷地区をエリアにしていきたい。じゃあ鶯谷に通学するのはどうするのよとかね。大門の子供は遠くなる。中の橋の子供は遠くなるか言うけど、現在でも鶯谷から小学校に通っている子供たちがいる。高野山で住んでいる方に高野町全体をみてとは言わないけれど、高野山として見てもらってあんな場所とかはずれにもって行ってなどの考え方はどうなのかと思う。

Q 公共施設をこんなに子供達が使っていないのかとよく思っている。たとえばですが、図書館があれば本を読んだり、将棋をやったり、兄弟で行ったりとか。その近くにはグラウンドがあって遊んでいる子もいれば、室内で遊んでいる子供もいる。公民館の図書室に子供が行っている姿をみたことがない。行っても寒い。体だけの寒さではなく見た目、雰囲気、もう家に帰ろうという気分になる。今度、学校が移動するのであれば近くに図書館があって学校帰りによるとか、例えば親は、近くのカフェがあってそこで時間を満喫するとか。いちいち10分かけて図書室とか、小学校に遊びに行くとかじゃなくて。10人が離れた3カ所にバラバラに遊びに行くのではなくて、その3カ所が近く横にあれば、例えば3人ではサッカーできないけど近くに友達がいるので呼んで来ようとか、中学生とかいけば中学生と交流ができるとか。できるだけ近くに施設を集めてもらって明るい雰囲気にしてほしい。学校も真っ白な壁ですけど、壁とかも木を使ってもらおうとか、見た目もあたたかくしてもらおうと子供が育ちやすいと思う。子供の環境、親の環境というのを考えてもらいたいなと思います。

A 公民館の図書室をまちかどサロン「縁」にもっていきたかった。けど公民館の図書室を作るのに補助金を使って事業を行なったので移動できなかった。学校建設にあたって図書館を作っていきます。そんなところにはしっかり投資をしていきたい。そこに遊び場があるとか考えています。あと100%木造にするというのは考えていません。できるだけ紀州材を使って内装とかは木質化したいと思っています。

Q 公民館に図書室があると知りませんでした。玄関入ってすぐの場所だと思っていました。

A 現在の公民館は位置がわるい。今後は、撤去して更地にしようかと思っています。

Q 高野町が目指す小中一貫教育の方針についてプリントを配布してもらっていますが、高野町は小中一貫を目指して建物を建てるとしていました。今日話を聞くと先生の公募など問題があるということですね。教育委員会からの建設にかかる要望書のなかで2番目の小中学校併設分離型校舎の建設が可能と書いてあるが具体的にどんなものであるのか教えてください。

A 小中学校併設分離型校舎とは、小学校棟があって、真ん中に職員室棟を含む共有棟があって、そして中学校棟があるという配置になります。例えば、小学校棟は小学生だけが使う。共有できる家庭科室・音楽室・特別教室にあっては共有で使う。中学棟は中学生だけが使う施設にしてほしいという意見です。

A 適正化債を使用するぎりぎりの案です。もともとは総務課が考えていたのは1階が小学校、2階が中学校、渡り廊下でこども園がつながるようなイメージをたたき台として作成しました。それに対して教育委員会からそれはやめたほうがいい。変更できないかという意見です。小学校を卒業したら中学校棟に行くという。小学校を卒業したらちょっと違うところに行くのだから気持ち非常に大切だという結論になったようです。じゃあどうするのかということで真ん中に共有棟をつくって左右に小学校棟、中学校棟を作る。しかし、渡り廊下でつないでしまうと適正化債が使えない。そこでこれをくっつけ一体化にするというものです。上から見たら一つの建物ですが中で分離している校舎ということですよ。

Q プリントに書いてある小中一貫教育については触れてないということでもいいですか。高野町小中一貫教育推進委員会が今どんな立場かわからないですが、保護者としては小中一貫教育を目指すということに保護者は思っていてよいのか。変わりがないと理解してよいですか。

A 小中一貫を進めていきたい。ただ、町長が小中における先生の公募だとか発言されていますが最終的な目標です。あまり一度に小中一貫に移行することが良いとは思っていません。子供たちに負担がかかってしまう可能性があるんで徐々に徐々に移行していきたい。小学校棟があり、中学校棟があり共有棟がある状態から始め、最終的には小中一貫にしていきたい。今、日本の現状からすると一気に小中一貫にしたところは、なにかしらの問題を抱えている。この間、京都の亀岡に学校の先生方も視察に行っていたが、10年をかけて移行したそうです。今、高野山中学校の生徒数は34名です。その人数で中学校単独でなにかをすとかではなく、幼、小、中を一カ所に集めて連携を強めていく。のちに小中一貫を目指すという目標であります。建物として連携を深めるためにも一カ所に、こども園、小学校、中学校があるというのが理想だと考えている。しかし、建設に関して財政負担も考える必要があると思います。そのあたりは協議していきたい。

Q 町長の思いがきけたのが良かった。常々、高野山のあり方についてみんなで考えなければならぬと思っていた。それを行政だけでやるのではなく、住民の意見を聞きながら進めるという視点を持っていたことはいいと思います。それでも個人的意見になってしましますが、施設を新しくすること、コンパクトにしていくこと、みんなで活用することは必要だだと思います。建替えについても老朽化のことを考えると時代の流れかなと思います。ただ、学校は、町の中心にある方がいいのではないかと思います。ある先生が赴任してくれてきた時に、こんなに町の真ん中に学校があり、子供たちがすぐに町のなかにいける。そして町の方が受け入れてくれる。いろんな学習ができる。こういう町だからこそできることだと教えて頂いた。この町に住んでいるとなかなか感じていないことだなと思った。外からの先生の意見で気づかされた。この問題が持ち上がったときに中学校に行くとなかなかそういう活動ができなくなるのではないかと。そういうこともあるのではないかと。思う。

町の中心にあるからこそこの地区からも歩いて来られるということがいいところだと思っていました。色んな理由があると思いますし、保護者だけの視点ではだめだと思いますが、補助金があるからだけで動いているのではなく、0ベースで考えてくれているのはありがたいなと思っています。

町の作り方として学校のあり方を是非考えてほしい。色んな目線で物事を考える、そして学校のことも考えてほしいと思っています。

A 町の中心地にできたらなと思います。現段階では、中学校周辺で考えています。様々の条件を検討した結果、候補地として方針を決めさせていただきました。高野山の中心地ではないけれど、ここが中心になるくらい人が集まって来るよなって言うだけじゃない環境を整備・工夫をしていきたと思います。説明会等を進めるなかで、なぜ中学校周辺が建設予定位置なのかという声も聞こえてくると思います。そこは町として説明をしなければならぬと思っています。小中一貫については平成28年から小中一貫推進委員会で協議していただいたというのがあります。建設完了までの期間を決めて、こういう機関や住民の方と協議を続けて進めていきたい。期間を決めることに批判されることもあるが本格的に動き出すには必要だと思う。教育委員会と推進委員会が中心となって進めてほしい。

A この問題の発端としては、高野山中学校の校舎の真ん中が地盤沈下によって校舎がくの字の状態になっている。その中で小中一貫が出てきた。まず、教育委員会として考えていたのは中学校の建替えです。これを早く解消してあげたいという気持ちがあります。そこに公共施設の整備という話が出てきました。そういうことで子供達にいい学習環境を整備できないかと考え、小中一貫という話がでてきたという流れです。

Q 高野山中学校の校舎が悪くなっている原因はなんですか

A 高野山中学校の校舎が建っている位置は、昭和40年代に自衛隊の協力を得て造成した土地になります。その時に山を削り、谷を埋めたわけですが、校舎の両端が山を削ったところで真ん中が谷を埋めた部分になります。谷を埋めた部分にもくいを打っていますが、時とともに地盤が下がっている状態です。このため、現状の位置に建物を建てる場合は、一度くいを抜いて、再度くいを入れなおす必要があります。それだけの費用がかかってくることになります。そこはご理解ください。

A 町営グラウンドも谷だったと思います。そこを埋めて造成しています。当然、谷を埋めると沈むことはあります。埋めてすぐにその場所に建てれば地盤とともに沈む場合があります。ただ年がたてば落ち着いていくものでもあります。また、中学校の技術室のあたりが土砂災害特別警戒地域相当に該当します。現在の位置に建物を建てるのであれば法面の改修も必要となっていきます。

Q 今、ハザードマップをみると土砂災害警戒地域ばかりですが、中学校へ行く唯一の道である上野山組様の横の法面が崩落すれば帰れなくなるという心配も考えられる。そのあたりはどのようにお考えですか

A 地震等の災害で一番気になるのは土砂災害。通学路をいかに安全にするか。また、災害が起きた場合にいかに早く対応できるように待機をさせていただいておくかということを考えます。道については、災害がおきれば事業者をお願いをして道をあけてもらいます。災害がおきれば高野山の事業者がすぐに動いてくれる体制に現在もなっています。避難が必要な場合は体育館を使って安全に避難させていただいておく。そういう施設を考えていかなければならないと思っております。

Q ここに来てびっくりしたのが10人しか保護者が参加していないということです。あとは先生方です。ほかの保護者のみなさんはこないの？と思った。せっかくの機会なので町内放送をするとか知らせてネットとか、学校から再度連絡があってもよかったのではないかと思います。町長、教育長、教育次長、総務課地籍管財室の担当者さんが来ていただいておりますが、町長の思いが強いのかなと思います。今回の事業については、教育委員会と総務課地籍管財室が担当部署になっているのですか。

A 集めることに広報不足のことをお詫びします。なかなか皆さんの関心をえることができていない。役場の努力不足だと思います。色んな広報をやりたいなと思います。役場庁舎内で公共施設整備検討委員会というのをやっています。各関係課長と管財係が入った会です。ワークショップを中心にいろいろな意見を吸い上げていこうということは管財係がメインとなってやっている。今回の事業については教育分野ということがあって教育委員会と総務課管財係が中心となって事業を進めている状況です。

Q 町長さんのタウンミーティングでも各課長さんが出席されます。この会でも各課長さんが参加してくれば高野町全体で考えているのだなと思うことができる。町長のトップダウンでやっているのではないよと。高野町全体で考えているのだというのがわかるのですが。そんな雰囲気があったらいいなと思いますし、議会の議員さんが来てもらうとか。今日時点、高野町のHP見ましたけど3月議会の一般質問にこの問題を取り上げている議員さんもいなかったと思う。そのへん残念だなと思います。金剛峯寺も一緒になって考える方がいいと思うけど、今回の内容では難しい部分もあるのかなと。でもオブザーバー的な立場で入ってもらうとか検討したほうがいいと思っています。この計画に対して反対するスタンスではないのですが、できれば、小学校は小学校、中学校は中学校を維持できればいいと思っています。少子化などでコンパクトにすることや複合化することはいいことだと思っていますが、ただ、願わくは、従来どおりがいいと思っている。お聞きしたいのはこの事業を0ベースに戻すということが出来るのか？ということです。中学校の建物は老朽化が進んでいると思うが、小学校はまだ建物は大丈夫だと思っている。中学校だけを建替えるということは考えられないのか。

A 方針を0ベースに戻すという選択肢として全く0%ということではないですが、町の公共施設の整備と整理を進めていくなかで方針は進めていかななくてはならない。適正化債を活用するにあたって平成33年度までに工事ははじめないとダメという現状は、国もいろんな要望を受けても延長されるかもしれない。地震や災害のことも考え、進んでいくべきだと思っている。現在でもひとつ乗り遅れている。本来であれば庁舎も建替えを検討していたが、事情があり、願いがかなわなかった。小中学校等の教育施設に絞った。場所については、0ベースではなく中学校周辺にするということを経済教育会議でも、平成30年12月の議会でも方向性を表明している。建物についての意見を聞くということは考えている。

Q 小中一貫校を建設しますと公に表明した方がいいのではないですか？紙面や広報を使うなど。

A 広報がへたくそなのか分かりませんが、議会に対しては伝えていきます。また、役場庁舎を建設する気持ちはない。庁舎として小学校を活用したい、または大学をお借りしたいということも伝えていきます。

Q 前者の方の質問を伺ったうえで質問しますが、小中学校の建設予定地は、うぐいす谷で決定ですか。

A プリントでお配りいただいている場所のということですか。鶯谷地区に建設するということですか。

Q どちらでも結構です。

A プリントでお配りしている赤枠については、町営グラウンドを残した場合ということで考えたものです。ワークショップの中では町営グラウンドを使ってはどうかという意見がありました。町エリアについては、鶯谷地区、中学校周辺で考えているということです。

Q 決定ということでよろしいですか

A 方針としては鶯谷です。最終決定するのは議会の承認が必要だと思っています。

Q 小学校に建てるのか？中学校周辺に建てるのか？0ベースで考えるのかとかいろいろあると思います。そこは町長さんに頑張ってもらってここで決定しますと言っていた方がどうゆうことを考えるべきなのかとか考えられます。そこはどーんと腰をおろしていただいた方が、話しが進むと思います。また、どちらの場所にあたりまして、ハザードマップを見させていただくと警戒地域に隣接していますよね。それは完全に安全ではないと思います。直接被害がなくても二次災害、三次災害が出てくると思います。どの場所に建てようかそのハードウェアが安全であることをお願いしたい。特にデザインビルドという素敵な試みと思いますが、デザインが先行しすぎて安全性を欠いてしまう。公共施設もそうですが、結構個人住宅も被害を受けております。デザイン重視にならないようにハードウェアが安全であること、そこに行くまでが安全であること。教育長からも小中一貫の方針について説明がありましたが、それができるのも子供たちが元気に安全に暮らしていけるかです。それが第一条件だと思いますので、どちらに建てて頂いても結構ですがとにかくいろいろな面が安全。今後おそらく大きな地震がくると思います。高野山だけは安全という保障はありません。通常の生活が安全確保できる建物にしたいとお願いしたいという要望です。

Q 新しく校舎を建設するにあたって生徒数が減少するなかで小中一貫にあたってどんな内容にするか。具体的に何を考えるのかを考えていく必要があると思う。校舎を建設することによって町の中心地が鶯谷に移ると考えました。町長が鶯谷をはずれと思わないでという発言がありましたが、イメージとしてこのままの状態だとはずれだと感じてしまいます。この前のPTAの役員会で町長がこのことについて説明にこられて役場から鶯谷の道が交通量も多く、人通りも少ないということでバスを走らせたいと言われていました。もしそれで遅刻したときや早退したときはどうなるのか。そのあたりが心配です。町の中心が鶯谷の方に移るとということで図書館とか公共施設を建てるってことですよ。前は、大阪に住んでいましたが隣の人とコミュニケーションをとったりしなかった。町を歩いているとお年寄りの方が声をかけてくれ、人間関係が密接している。そこがびっくりした。そこが高野町の素晴らしい所です。今でもお年寄りの方と福祉保健センターで触れ合うことがあります。来ている方は元気な人ばかりです。もっと小学生とか地域の人に触れ合ってほしい。そういう場を作ってほしいですが、鶯谷に作るとさらに行きにくい場所になる気がする。鶯谷が町の中心になるというのであれば、通学だけでなくコミュニティバスを常に巡回してほしい。もっとみんなが集いやすい場所を作ってほしい。地域の人巻き込んで考えてほしいと思います。

A 町の中心地が鶯谷に移動するという事まで考えて頂いていることはすごくありがたい。違う場所から移住いただいてコミュニケーションをとっていただいている中でそういう場所の必要だという意見。しかし、鶯谷に作ると行きにくくなるのではないかと。また小中学校に関する事など心配ありがとうございます。高野町においても町内会の力が低下している。人と人のつながりは都会よりはあると思う。でも昔と比べると高野町は都会化している。隣近所を気にせず、自分だけよかったらいいやと思う人も増えてきている。各町内会で中心人物がいるという地域が少なくなっている。そのため、コミュニケーションの場を作っていくことも必要だと思っている。小学生や中学生だけがその地区に行くのではなく、お年を召した方も、そこにみんなが行く。そしてコミュニケーションが取れる場所・スペースをしっかり作っていききたい。みんなが来なくなるようにしたい。交通のことにつきましても、現状ではコミュニティバスが走れないというところもありますのでどんな形ですべきかを考えていかなくてはならない。と思います。中心地がここに来ることによって遠くなってしまう方もいらっしゃると思いますが、そこはそういう方も来なくなる、来ることができる場所にしなければならないと思っています。

Q いろんな方の意見、考えを聴くことも必要であるが進めていかなくてはならない部分もある。開校予定が4年後ぐらいになると思うが、それまで毎日が教育の場として学校がある。現状の建物の維持管理は今までどおりやってほしい。今回の話と現状の維持ということで負担が増えると思うがそこはしっかりやってほしい。このような会で保護者として意見もさせていただきますが、現場で働かれるのは先生です。保護者以上の思いがあると思います。先生方の意見も聞いていただき、子供たち、行政、先生、保護者が一体となって是非とも進めてほしい。

Q ハザードマップを見ると中学校に行くまでの通学路が危険地域になっているところが多い。ということは通学路が危険地域であるということです。なにかあれば通学路が使えなくなる。学校自体が孤立状態になる。退路がない。ということは一番危険地域に学校をもっていくことになるのではいか。例えばですが、学校までまっすぐトンネルを抜くとかすれば、一回上って下るようなことをしなくてよくなるし、退路を確保できる。助けに行くこともできる。災害の物資も運ぶことができる。ハザードマップを見ていると校舎だけが危険地区になってないだけに見える。通学路は確保していただきたい。

A 地震については、いつ起こるかわからない。タウンミーティングでもそのことは伝えている。災害のことを想定していないといけませんが、土砂災害警戒地域を全部改修するということは非現実的だと思うが、崩落の危険性が上がっている部分については、これから改修していく必要があると思う。ただ、学校の授業中に災害が起こった場合には、学校が避難所になる。家に帰っても危険な場合がある。今回建てる校舎についても、そのあたりを考えたものにならない。

Q ハザードマップで高野山のなかでも危険地域に囲われている場所と囲われていない場がある。中学校の登り口は全部危険地区として囲われていますよね。囲われている場所は、ほかの地域より災害が起こりやすい場所を示しているのですよね。通学路は全部あぶないと思いますけど工事さえすればその危険性がなくなるということですよ。

A 基本的には、危険地域を全部なくしたい。でもタウンミーティングの時でも住民の方からハザードマップをお配りしたときに危険地区については、全部解消してくれるのかという意見がありました。現実的に、町内全部を解消することは無理です。物理的に無理です。ハザードマップの意味としては、今住んでいる場所がどういうところかというのを知ってもらい意味があります。安全にするためのマップではない。家などを建てる時に参考にしてもらえればと思います。ご心配されているとおり、通学路について、土砂崩れが起きたらどうするか。まずはそれぞれで命を守っていただく。それは一人で登校することをなくすとか。地震がきても大丈夫なような集団行動をさせるとかをまずやっていかないとダメだなと思っています。

Q デザインビルドということで民間の意見を取り入れやすいということも大切ですが、案をみせて頂くと体育館が遠い。高野山の場合雪がある。この小学校の体育館を設置にするにあたって、当時の校長先生は、さまざまな学校を視察されて設計されたと聞いています。高野山の子供たちは雪の期間は体育館で遊びます。それも全生徒は無理です。時間を分けて遊んでいます。二階三階に卓球台をおいてあるのでそこで遊んでいます。中学年・高学年は遊ぶ場所を確保できていますが、低学年は学童保育所があるので、確保できていません。校舎の近くに体育館を建ててあげてほしい。体育館のほかに屋内ゲートボール場のようなものがあればなおよい。またプールについてもできるだけ校舎の近くがいい。そうしないと、なにか起きた時に不安しかない。管理ができない。体育館、プールは隣接した形にしてほしい。校舎からグラウンドが見えるようにしてほしい。子供たちは雪のときは外で遊びます。そのためスキーウェアを乾かせる場所がほしい。今は廊下で干しています。私たちも思いがあります。そういう意見を取り入れてもらい子供たちのことを第一に考えてほしい。

A 学校の先生の意見について、建設に際してどんどん取り入れたいと思っている。教育委員会を通じてでもいいので伝えてほしい。積極的な参加をよろしく願います。

高野山こども園説明会質疑応答（平成31年3月7日開催）

質問者：保護者 回答者：町長・担当者

Q 建設場所はここで（中学校敷地等）で決定ですか。

A 方針はここに建てることに決めましたが、決定は議会の承諾が必要です。このような会も議会軽視だという議員さんもいらっしゃいますが、それでは話が進まない。今日は、方針をお伝えに来ました。

Q 配付資料のスケジュールだと6月までに考えをまとめないとダメなように思います。いつまでにまとめるのですか。延長できるのですか。

A 今日は建てていく方向ですという方針を伝えに来ました。今のまでの説明会の中でそんな建物はいらないよ。小学校は現状維持で、中学校だけ建て直せばいいんじゃないかという意見もある。いろんな意見を聞いて、いろんな建物の配置なんかも作ってアンケートを実施するなど、どんどん意見交換したい。

Q 町としてここまで決めないといけないという期限があるようですので、町として本決まりになるのは議会の承認が必要ということですが、予算など本決まりになるのはいつですか。

A 要求水準書を平成31年度の冬前には仕上げたい。住民の方や学校の先生の意見をまとめたものです。それを事業者に開示します。それで事業者を募集します。大きく予算が動きだすのは32年度の当初予算から入ってくるかなと思っています。

Q ということは32年度の予算にこの事業が盛り込まれるということですね。それを議決したところが本決まりということですね。ということは32年度の予算を審議する議会はいつになりますか。

A 事業者が設計に入りますので、設計に関する予算には32年度に入れる予定です。事業者選定に必要なことは31年度の9月か12月の議会で決めなくてはなりませんね。

Q 来年度の夏ごろから冬にかけて決まるということですね。

A そうですね。今までワークショップを何度か開催しているが参加者に波がある。関心をつかめていないのも分かるし、PR不足というのもある。でも自分事だと考えてほしい。何回もワークショップを開いていくなかでアンケートの結果とか、具体的な話になっていく。保護者だけではなく、高齢者の方やこども園にまだ入園していない保護者の方々からも意見を聞きたいと思っています。こども園の保護者の方々が一番利用する施設になると思いますので考えておいてください。関心度で言えばこども園の保護者が一番高く、小学校、中学校の順で低くなっていくのかなと思う。みんなの意見を聞いて建てたのだから文句は言わないでねってものではなく、みんなで学校を作ることを今回やろうと思っています。

Q 中学校の周辺に学校を建てようとするので工事期間が2年間程度ということですが、その間、中学生はどこで勉強とかスポーツ関係とかするのですか。計画に入っていますか。

A そのことについて教育委員会と協議中ですが、行政としては中学校を更地にして敷地を有効に使いたいと思っている。移転先としては小学校や大学の空き教室を利用できないかと考えている。クラブとか体育とかは移動が必要なので送迎とか必要かもしれない。しかし、中学校としては、教育環境を変えず、引っ越しはできる限り1回にしたいとの考えがありますので話をしていかなければなりません。

Q 中学校の2年間は重要な期間になると思いますのでどうお考えなのかと思ってお尋ねしました。

A 中学校としては、教育環境を変えず、引っ越しはできる限り1回にしたい。新しい施設を建設した後に移動だけしたい。そのあとに中学校を撤去してほしいということを望まれています。工事の工程とか土地の有効利用を考えなくてはならないが子供には迷惑をかけたくない。また、工事期間中も園児、生徒が通う場所ですので工事期間中に危険性がないのか、そのあたりは十分考えなくてはならない。仮校舎、仮園舎を建てることは、非常にコストがかさむのでできればそこは避けたい。

Q いただいている書類、高野町の目指す一貫教育の教育理念が高野町の教育理念になると思う。視点2がメインになると考えると町長の思いでいいのですが、どんな施設をイメージしていますか。もしくはこども園をもっと豊か・心を育てるのであれば遊ぶところをもっと増やすべきだと思うし、砂場であれば手を動かし、健全な体をつくるに役に立つが使える期間が少なかったりする。高野町の特有、または何かに特化していく、健全な体をつくるにはそれにあった施設、勉強に特化するなら、それにあった施設、宗教都市としてなら、それが学べる施設や雰囲気も反映されると思います。いろんなこども園が様々な特徴を出してきているが、町の理念とこども園の理念と小中学校の理念と変わってくるのかなと思うのですがどんなことを考えていますか。

A 小中一貫校を目指すなかで教育委員会と推進委員会でひな形を作ってもらった。できれば宗教をいれてほしいと要望した。公立の学校で宗教ということを入れることはどうなのかということが教育委員会等で議論になった。でもこども園ではお大師様のことを教えてもらったりしている。高野山という場所は宗教を文化としてとらえて育っていく場所である。そういうことを感じられるとかお大師様に感謝の気持ちをもって手を合わせること、命とか人を思うことを学べる場所にしたいと思う。高野山小学校の学校林、町有林の木を校舎の一部に使用して、できる限り木質化していきたい。公共施設を建てたいということだけでなく、人口が減少、高齢化するなかで施設を縮小・集約化とかするという考え方でなく、その施設を全国から足を運んで見に来てもらう、是非この場所で勉強を教えたい、保育がしたいという人が来てもらえる動機づけとなる施設にしたいという思いもある。

Q 小中一貫校を建てるということで来させていただいた。これからの高野山で子育てをすることを考えると人口 3000 人を切ろうとする町で小学校と中学校が離れているというよりは、一カ所に集中させた方が財政的にもいいと思うし、社会に出ていくにあたっていろんな生徒とかかわり、社会に適用できる人に育ててほしいと思う。語学力も PC のスキルなどそうやって教育も強化していただきたい。

Q 何回かワークショップに参加しているが、大体の流れというのは参加してくれている人は把握しているが、初めて参加される方がいると今までの流れを説明していると時間がとられる。もう少し説明会とかアピールしていただきたいと思う。あと子供をもつ親でもこのことを知らない方が多い。行っても無駄だと思っている方も結構いる。今回本気なのだぞっていう姿勢を見せてほしい。

A 今回の説明会で出た意見は全家庭に配布したいと考えている。ワークショップで出た意見も回覧を使って全戸配布していく。議論を進める方法かなと思っている。

Q 通学路が一番心配です。狭い所を低学年の子供が安全に通学できるのか。スクールバスで送迎という話もありましたが、それが本当に毎日送迎できるのか？あと少し道路とか整備が必要なのではないかと思う。今でも青い線を引いていただいたり、整備していただいているが、歩道が変わる場所が非常に危険を感じる。そういう整備も視野に入れて話を進めてほしい。

A 今、鶯谷地区に住んでいる小学校の低学年が小学校に通っているのに対応してないのはどういうことなのかって意見もあり、そこについては謝るしかありません。今の考えとしてはできるだけ町なかには子供たちが歩いてほしい。登校時は今の役場まで歩いてもらってからスクールバスに乗っていただく。下校時は何便かを学校から役場まで巡回させる。災害や危険なことがあればそれに対応して巡回してもらうということも必要かと思う。小中学校は教育委員会が管轄で、こども園が高野山学園に指定管理していただいている。こういったなかでしっかりと連携をとっていくようにしたいと思います。

Q こども園と小学校と中学校が一貫しているところってほかの市町村でありますか。

A あると思います。小学校、中学校の一貫教育については、小中学校の保護者・学校の先生が視察に行っ
てレポート等の報告は受けています。また、今月の中ごろには小中一貫推進会議が開催されるよう
です。そういうところを出た意見は住民の方にお伝えできたらと思います。事例は今把握していません。

A 広島県の三原学園というところが幼小中一貫教育を実施しています。このあたりも研究していければと
思います。

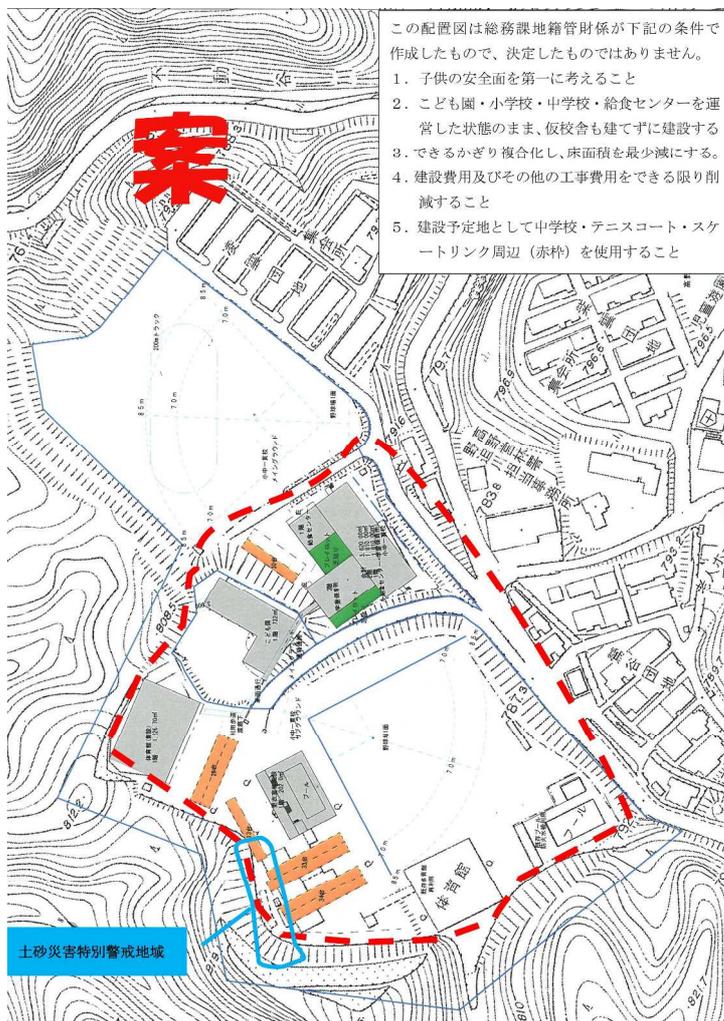
Q こども園から小学校・小学校から中学校へと環境が変わった方が子供たちの成長にもなったりするの
かなと思います。それが 15 年間一緒の空間で育つということは、高校に行ったり、社会で出るときにそ
の教育がよしと出るか反対に出るかということが気になったので質問させていただきました。

A 教育委員会の中では、できる限り敷地内でこども園は場所を分ける。小学校を卒業したら中学校棟に行
くというできるだけ違う環境にしてという要望がある。例えばこども園が 1 階、小学校が 2 階、中学校
が 3 階みたいにしたら財源的にも負担が少なく建設できるかもしれないが、それは子供の成長の妨げに
なるかもしれないので全部を離してほしいという意見です。でも全部を離すと財源的な問題が生じるの
で建物の工夫をやっていかなければならない。

Q 小中一貫に関して最初に聞いたときには驚いたがビジョンを聞くと小中一貫で学ばせることは、特に高野山で暮らす人間としてはいろんなことを違う先生がバラバラであるよりは教育理念が一貫して同じ方向を向きながら勉強やスポーツをすることはいいのではないかと。基本的には賛成なのですが、気になるのは公共施設の複合化ですね。公民館や図書室などはあるのは知っているが意外と使わない。それが学校、役場の近くにあると利用しやすくなると思う。しかし、お年を召した方など使うとなると小中一貫の場所に建築するとみなさんが行けるかということになる。複合化されることには賛成があるが、交通の便の見直しを考えただけだと非常に使いやすくなると思う。

A 複合化として遊び場があるし、図書館があるとか、日本中から見学者がくるような、町外の人が図書館を利用しにくるような施設にできたらなという思いもある。カフェがあって高野山のことが学べる開放的な空間にしたいなとも思う。高齢者との子供たちがコミュニケーションの場にしたいので、たとえばタクシーを出すとかそんなことも考えたいなと思います。

◆説明会で配布した資料の一部を掲載します。



○ 財源について

公共施設等の適正管理に係る地方債措置の拡充

平成29年度に創設した「公共施設等適正管理推進事業債」について、長寿命化事業の対象を拡充するとともに、ユニバーサルデザイン化に要する経費を追加するなど内容を充実。あわせて、長寿命化、転用、立地適正化、ユニバーサルデザイン化事業について、財政力が弱い団体であっても必要な取組を着実に実施できるよう、財政力に応じて交付税措置率を上げ。

公共施設等適正管理推進事業債	(期間:平成29年度から平成33年度まで(⑥は平成32年度まで)) ※下線部分よりH30年度より追加
①集約化・複合化事業	
(対象事業) 延床面積の減少を伴う集約化・複合化事業	(充当率等) 充当率: 90%、交付税措置率: 50%

例 公共施設の集約化・複合化した施設の建設費が10億円かかった場合

10億円×充当率90%=9億円(この9億円は国から借入できます。) ※1億円は借入の時点で必要!

9億円×交付税措置率50%=4億5千万円は交付税として国から高野町に入ります。

よって実施負担額は、1億円と4億5千万円(30年で返済)で5億5千万円です。

(集約化・複合化のイメージ)

小学校
1000㎡

+

中学校
1000㎡

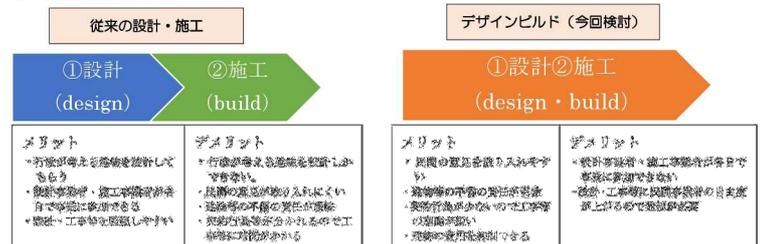
=

小中一貫校
2000㎡

(ポイント)

- ・建物が一体になっていない複合化になりません。※限り節下でつなぐ×
- ・地方債措置の期限は、現在のところ平成33年度まで

○ 建設方法について



○ DB方式での事業想定スケジュール

- ・(平成31年) 2019年6月までに、こんなこども園・学校施設等を整備してほしいという意見をまとめたいと考えています。(ワークショップ・アンケート・説明会を開催します。)
- ・(平成31年) 2019年8月までにプロポーザルに必要な要求水準書を作成します。
- ・(平成31年) 2019年9月プロポーザルによってこの事業の参加事業者を募集します。
- ・(平成31年) 2019年12月プロポーザル参加事業者の選考会を行います。
- ・(平成32年) 2020年2月頃までには優先交渉事業者決定し、協議を開始したいと考えます。
- ・(平成33年) 2021年2月までの1年間をかけて具体的な設計を行い、工事を開始します。
- ・(平成35年) 2023年複合施設建設を計画しているため工期は2年間としています。



平成 30 年 12 月 第 5 回ワークショップでのご意見（抜粋）

『子供の笑顔があふれる町になるアイデア』

- ・子供の特性、個性を大人が理解している
- ・親が仲良く、夫婦がお互いに認めあう
- ・人の嫌がることを言わない。他人と比べない
- ・やりたいことをやってもよい環境
- ・住民が日々ほめ合う（大人の姿を子供に見せることが大切）
- ・朝から大きな声を出す練習をして、元気な挨拶は大人から
- ・みんなが子供達を我が子と感じ、共育していく
- ・いろいろな人とできるだけ多くの話ができる
- ・大人が子供達に優しく接してくれる
- ・大人と子供が一緒になって遊べる

『子供の笑顔あふれる町にあればいいなと思う施設』

- ・地域の方が通学を見守ってくれる場所
- ・動物と触れ合える場所
- ・きれいな学校・給食センター
- ・習い事がなんでも習える施設
- ・寝ころぶことや裸足で遊べる、芝生の公園
- ・大人と子供が一緒になって遊べる公園
- ・いつでも世代を超え、住民と子供達がいつでも交流ができる場所
- ・町中に無料 Wi-Fi
- ・ゲームセンターやスポーツジム、カラオケなどみんなが集える場所
- ・たくさんの本や漫画、映画なども観ることができる図書館
- ・大きなアスレチック
- ・子供の文句を聞いてくれるセンター
- ・住民や子供が一緒になって飾りつけができる巨大なシンボルツリー
- ・制服などを自由に交換、もらえる施設

平成31年1月 第6回ワークショップでのご意見（抜粋）

『建設計画へのご意見』

- ・敷地（建設予定地）はなぜ中学校周辺なのか
- ・小中一貫校などの問題点になかなか結論が出ていない感じがする。方向性を早く出すべき
- ・今こそ本気で考えて！校舎建設はできるはず
- ・中学校の校舎に問題を抱えていることをわかっている。すぐに計画を進めてほしい
- ・町としてどうしたいのか？どれくらいの費用になるのかもっと情報を開示してほしい。
- ・住民の意見を聴くことも大切だが、なにをするかを明確にしてほしい。

『①日頃感じている子育て、教育に関する提案、アイデア、問題点』

- ・高野町は子育てに不便です。塾やクラブ活動をするためには下まで送迎が必要だが、夫婦共働きの方は、送迎できない
- ・子供に対するクラブ活動（スポーツ）の数が少なすぎる。
- ・子供の視野・可能性をもっと増やして（人がすくないことを理由に可能性をなくさないで）
- ・子供の数が少なくなっていくことは考え、大きすぎる施設は必要ない
- ・高野町のことを学ぶ場をもっと提供してほしい（もっと力をいれるべき）
- ・地域の人と子供達の関わりが大切。小さな町だからできることがある
- ・安心して外で遊べる場所が少ない。
- ・子供が外を歩いていない。子供が歩けばもっとにぎやかになる
- ・人口減少問題に対してもっと取り組んでほしい

『①で話し合ったことを実現するには、どんな子育て施設、学校が必要か』

- ・親がいつでも教育の場を観ることができる環境・施設
- ・公共施設全てを一つのエリアにまとめて連携を強化してほしい
- ・学校の先生や職員、子供達、保護者にとって風通しがよい環境を作してほしい
- ・セキュリティーがしっかりしている建物
- ・施設も大切だが、いろんなイベントを開催するなど、運用面の方が重要
- ・生き物と触れ合える施設
- ・複合化施設（こども園・小中学校・公民館・プチホール・教育委員会・図書館など）
- ・こども園から中学生が交流できる場がある施設
- ・通学に安全な通学路。コミュニティーバスの導入（民間事業者と連携）
- ・地元の人でも気軽に子供達と交流できる学校

『ワークショップへの意見』

- ・ワークショップのアピール不足。参加者が少なすぎる
- ・キッズルームなど、子供のことを見てくれるワークショップが必要（お母さんが出にくい）
- ・アンケートを実施してほしい。
- ・今回のように気軽に意見をいい、他人の意見を尊重できる時間をもっと取ってほしい。

『学校施設の複合化、学校施設の活用について』

『プールの開放について』

- ・プールについては、開放できるのであれば住民に開放してほしい
- ・プール開放については、住民のみとし、一般開放はだめ

『学校施設の複合化について』

- ・小・中・こども園・学童・子育て支援センター・図書館・公民館を複合化してはどうか
- ・小中学校、地域住民が利用できる施設に複合化
- ・地域の拠点となってほしい
- ・複合化は少子化のなかでは必要.省エネ.予算縮小のためになる
- ・複合化してもいいと思うが『どこを目指して』複合化するのか？これが大切では？
- ・複合化についてよいと思うけど動線はよく考えたほうがいい。
- ・町としてのグランドデザインが分からない
- ・条件付で複合化OK（セキュリティ・防犯面）
- ・小・中学校の校舎は一緒にして、こども園は敷地内で離してほしい
- ・施設はできるだけ使わないと損。全ての世代の集まるような場所になればいいと思う
- ・将来人数（児童数）が減った時の施設利用を考えた設計
- ・町としてどんな教育をするのか？
- ・なにを目標としているかわからないと施設は考えられない
- ・既存施設の有効利用についても熟慮する（解体、撤去も含め）
- ・すでに複合化を決定している？のにこのような意見求めることに疑問があります。
- ・町民へ小中一貫（複合化）を正式に説明（発表）したのはいつでしょうか？
- ・コンサルとかいれないと間に合わないと思うし、もっとアイデアも出ると思う。（提案などをしてくれるので）